

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-196931

(43)Date of publication of application : 27.07.1999

(51)Int.Cl.

A45D 40/00
A45D 40/06

(21)Application number : 10-021428

(71)Applicant : KATSUSHIKA:KK

(22)Date of filing : 19.01.1998

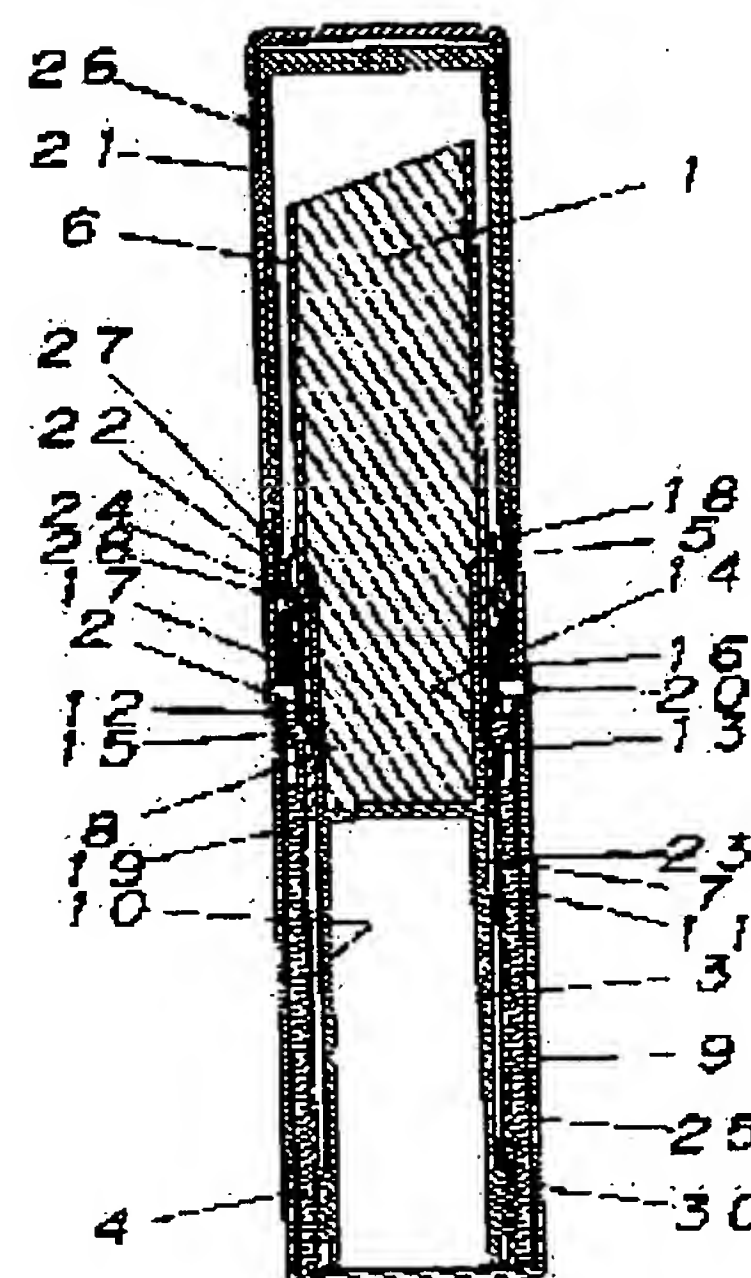
(72)Inventor : MIZUGAKI TOORU

(54) ROD TYPE COSMETIC DELIVERY VESSEL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To improve a sealing property, feel at the time of fitting and flexibility to other vessels, regarding the cap of a delivery vessel for housing rod type cosmetics such as a lipstick containing a volatile component.

SOLUTION: This vessel has a sleeve 6 for internally fitting and holding rod type cosmetics 1, and internally housing a holding cylinder 2 having a suspended leg cylinder 3 with a screw projection 4 on a lower end outer wall, so as to be freely slidable vertically. The screwed projection 4 passes through the lower part of the sleeve 6 and a guide groove 7 is formed on the lower end of the sleeve 6 parallel with an axial line. Furthermore, the vessel has a spiral cylinder 9 having the lower part of the sleeve 6 rotatably inserted with the projection 4 screwed to an inner wall and an open spiral groove 10 at the lower end, an intermediate cylinder having a fitting part 22 at the upper part and a fitting recess groove 24 on the outer circumference, a body cylinder for inserting and fixing the lower part of the intermediate cylinder, and a cap 21. In addition, a thin-wall part formed to be flexible and internally fixed to the cap 21 is provided and the inner side of the thin-wall part is provided with a plurality of the projections 4 for fitting with the fitting recess of the intermediate cylinder. In this case, the inner diameter of the upper part of the fitting projections 4 is made equal to or slightly less than the outer diameter of the intermediate cylinder fitting part, thereby sealing and tightly attaching a cap body 26.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-196931

(43)公開日 平成11年(1999) 7 月27日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 5 D 40/00

A 4 5 D 40/00

U

M

40/06

40/06

Z

審査請求 未請求 請求項の数5 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平10-21428

(22)出願日 平成10年(1998) 1 月19日

(71)出願人 000140915

株式会社カツシカ

東京都葛飾区西新小岩 3 丁目20番 8 号

(72)発明者 水柿 透

東京都葛飾区西新小岩 3 丁目20番 8 号 株

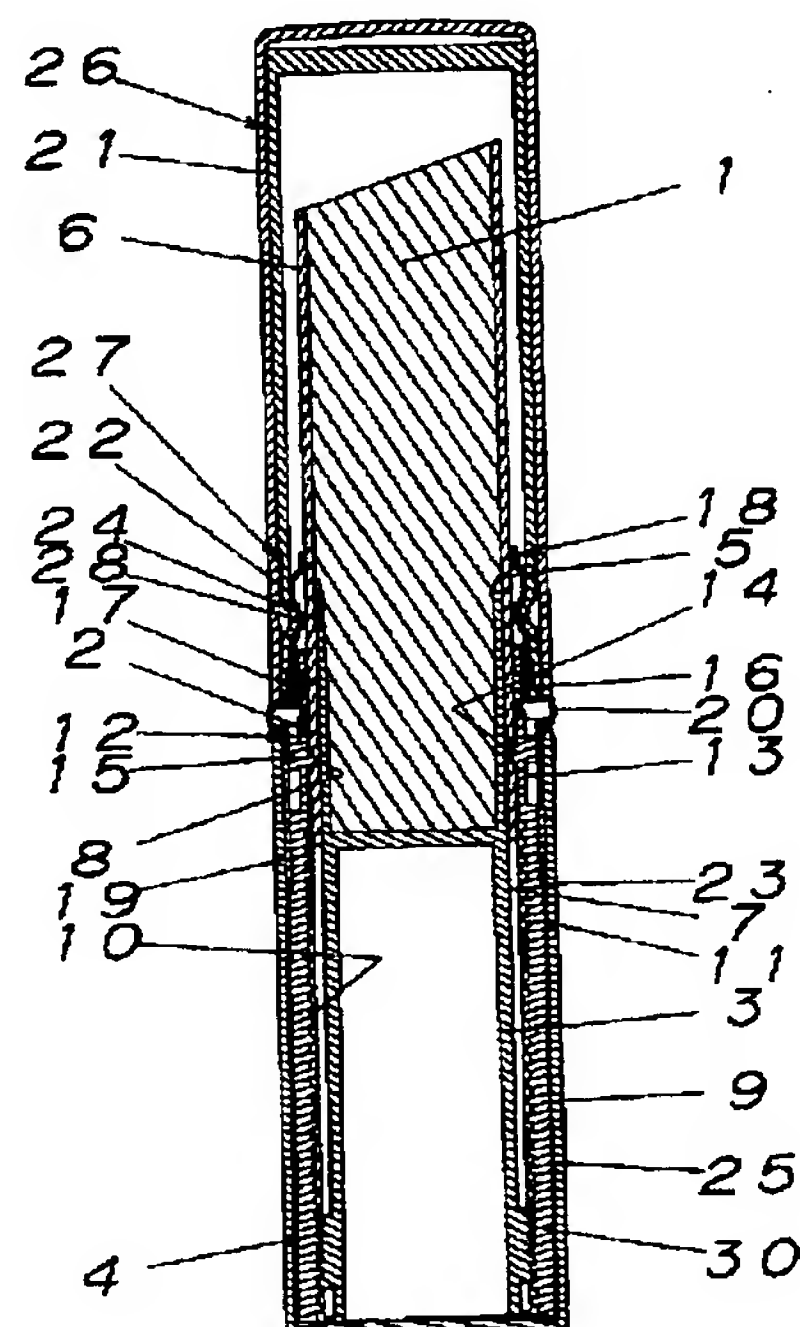
式会社カツシカ内

(54)【発明の名称】 棒状化粧料繰り出し容器

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 揮発性成分を含有した口紅等の棒状化粧料を収納する繰り出し容器のキャップの密閉性、嵌合時の感触、他への汎用性を向上させた。

【解決手段】 棒状化粧料 1 を収嵌保持し、下端外壁に螺合突部 4 を設けた脚筒 3 を垂下した保持筒 2 を上下摺動自在に内装し、下部に螺合突部 4 が貫通し、下端に開溝したガイド溝 7 を軸線と平行に穿設したスリーブ 6 と、スリーブの下部が回転可能に挿入され、内壁に螺合突部 4 が螺合し、下端に開溝した螺旋溝 10 を設けた螺旋筒 9 と、上部に嵌合部 22 を設け、外周に嵌合凹溝 24 を設けた中具筒と、中具筒の下部が挿入止着される本体筒と、キャップ 21 と、キャップ内に止着され、下部にたわみ可能な肉薄部を構成し、肉薄部内壁に中具筒の嵌合凹溝に係合する嵌合突部を複数設け、肉薄部に削除して嵌合突部自体を变形可能にし、嵌合突部上方の内径を中具筒嵌合部外径と同径か僅かに小径にして、密着密閉させた帽体 26 とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 棒状化粧料 1 を収嵌保持し、下端外側壁に螺合突部 4 を突設した脚筒 3 を垂下した保持筒 2 と、該保持筒 2 を上下摺動自在に内装し、下部側壁に前記螺合突部 4 が貫通し、下端に開溝したガイド溝 7 を軸線と平行に穿設したスリーブ 6 と、

該スリーブ 6 の下部が回動可能に脱落不能に挿入され、内壁に前記螺合突部 4 が螺合し、下端に開溝した螺旋溝 1 0 を螺設した螺旋筒 9 と、

該螺旋筒 9 の上部に回動不能に嵌合し、上部に嵌合部 2 2 を設け、該嵌合部 2 2 外周に嵌合凹溝 2 4 を周設した中具筒 1 8 と、

該中具筒 1 8 の下部が挿入止着される本体筒 2 5 と、キャップ 2 1 と、

該キャップ 2 1 内に止着され、下部にたわみ可能な肉薄部 2 7 を構成し、該肉薄部 2 7 内壁に前記中具筒 1 8 の嵌合凹溝 2 4 に係合する嵌合突部 2 8 を複数突設し、該嵌合突部 2 8 の背面も薄肉に削除され嵌合突部 2 8 自体も変形可能に構成し、嵌合突部 2 8 上方の内径を中具筒 1 8 嵌合部 2 2 外径と同径か僅かに小径に構成して、嵌合部 2 2 上方を密着密閉させた帽体 2 6 と、より構成される事を特徴とする棒状化粧料繰り出し容器。

【請求項 2】 棒状化粧料 1 を収嵌保持し、下端外側壁に螺合突部 4 を突設した脚筒 3 を垂下した保持筒 2 と、該保持筒 2 を上下摺動自在に内装し、下部側壁に前記螺合突部 4 が貫通し、下端に開溝したガイド溝 7 を軸線と平行に穿設したスリーブ 6 と、

該スリーブ 6 の下部が回動可能に挿入され、内壁に前記螺合突部 4 が螺合し、下端に開溝した螺旋溝 1 0 を螺設した螺旋筒 9 と、

該螺旋筒 9 の上部に回動不能に嵌合し、上部に嵌合部 2 2 を設けた中具筒 1 8 と、

該中具筒 1 8 の下部が挿入止着される本体筒 2 5 と、前記中具筒 1 8 の嵌合部 2 2 に抜脱可能に嵌合するキャップ 2 1 と、より構成される事を特徴とする棒状化粧料繰り出し容器。

【請求項 3】 前記スリーブ 6 のガイド溝 7 の上方外壁に連結凹溝 8 を周設し、

前記螺旋筒 9 の上部に連結筒 1 2 を連設し、該連結筒 1 2 側壁に逆 U 字状に切り欠いて外方向にたわみ可能な連結片 1 3 を構成し、該連結片 1 3 の上端内側壁に前記スリーブ 6 の連結凹溝 8 に回動可能に係合する係合突部 1 4 を突設し、

前記螺旋筒 9 の上部に中具筒 1 8 を嵌合した際、嵌合部 2 2 内壁が前記嵌合突部 2 8 の背後に位置して連結片 1 3 の屈曲を阻止して螺旋筒 9 とスリーブ 6 を脱落不能に連結した事を特徴とする請求項 1 及び請求項 2 いずれかの項記載の棒状化粧料繰り出し容器。

【請求項 4】 前記螺旋筒 9 の上部に薄肉でたわみ可能な摺接部 1 6 を構成し、該摺接部 1 6 内壁に、前記スリ

ーブ 6 外壁に弾性を有して当接する複数の摺接突部 1 7 を突設した事を特徴とする、請求項 1、請求項 2 及び請求項 3 いずれかの項記載の棒状化粧料繰り出し容器。

【請求項 5】 前記螺旋筒 9 内に保持筒 2 の螺合突部 4 の幅よりも狭く、深さの浅い螺旋溝 1 0 を内壁全周に無数条螺設し、前記保持筒 2 の螺合突部 4 先端面に隣り合った複数条の螺旋溝 1 0 と螺合する螺合面 3 0 を刻設した事を特徴とする、請求項 1、請求項 2、請求項 3 及び請求項 4 いずれかの項記載の棒状化粧料繰り出し容器。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【産業上の利用分野】本発明は、揮発性成分を含有した口紅等の棒状化粧料を収納する繰り出し容器に於いて、キャップの密閉性、キャップ嵌合時の感触、汎用性を向上させた棒状化粧料繰り出し容器に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】従来より、揮発性成分を含有した口紅等の棒状化粧料を収納する繰り出し容器は、キャップ内にパッキン性を有した帽体を内装し、この帽体を容器本体の一部分、例えばキャップが抜脱可能に嵌合する中具筒に密着嵌合させ、容器内を密閉していた。そして、中具と帽体の密着嵌合手段としては、実開昭 6 3 - 4 2 3 2 3 号公報、実開昭 6 3 - 4 6 0 1 6 号公報等に見られるように、中具筒外周に環状の凸部若しくは凹部を設け、帽体の内壁にこの凸部若しくは凹部に密着係合する環状の凹部若しくは凸部を設け、この凸部と凹部が係合すると同時に容器内を密閉できるようにしていた。

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】しかし、この中具筒にキャップを嵌合した際、容器内を密閉する必要上、凸部が中具筒外壁若しくは帽体内壁に密着移動しながら凹部に嵌合するため、ピストン効果で容器内の内圧が上昇してしまい、不用意にキャップが浮いてしまったり、キャップが外れてしまったりする危険性があった。また、帽体にエア抜き機構を設けた構成も提案されているが、構造が複雑になってしまったり、密閉効果が弱くなってしまった。

【0 0 0 4】また、容器をいろいろな棒状化粧料に対応できる構成とすれば、容器のコストは削減できるのであるが、前述したキャップの内部に帽体を設けた構成と帽体がない構成とでは、キャップの肉厚で調整するには差がありすぎた。従って、現状では、それぞれに対応したパーツを用意する必要があった。

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】棒状化粧料 1 を収嵌保持し、下端外側壁に螺合突部 4 を突設した脚筒 3 を垂下した保持筒 2 と、この保持筒 2 を上下摺動自在に内装し、下部側壁に前記螺合突部 4 が貫通し、下端に開溝したガイド溝 7 を軸線と平行に穿設したスリーブ 6 と、このスリーブ 6 の下部が回動可能に脱落不能に挿入され、内壁

10

20

30

40

50

に前記螺合突部 4 が螺合し、下端に開溝した螺旋溝 1 0 を螺設した螺旋筒 9 と、この螺旋筒 9 の上部に嵌合し、上部に嵌合部 2 2 を設け、この嵌合部 2 2 外周に嵌合凹溝 2 4 を周設した中具筒 1 8 と、この中具筒 1 8 の下部が挿入止着される本体筒 2 5 と、キャップ 2 1 と、このキャップ 2 1 内に止着され、下部にたわみ可能な肉薄部 2 7 を構成し、この肉薄部 2 7 内壁に前記中具筒 1 8 の嵌合凹溝 2 4 に係合する嵌合突部 2 8 を複数突設し、この嵌合突部 2 8 の背面も肉薄に削除して嵌合突部 2 8 自体を変形可能に構成し、嵌合突部 2 8 上方の内径を中具筒 1 8 嵌合部 2 2 外径と同径か僅かに小径に構成して、嵌合部 2 2 上方を密着密閉させた帽体 2 6 と、より構成する。

【0006】

【作用】スリーブ 6 を保持して本体筒 2 5 を回動操作すると、本体筒 2 5 に止着された中具筒 1 8 が回動不能に嵌合した螺旋筒 9 も回動する。スリーブ 6 内に内装された保持筒 2 は、スリーブ 6 に刻設されたガイド溝 7 に螺合突部 4 が貫通して回動が阻止された状態で螺旋筒 9 の螺旋溝 1 0 に螺合しているため、螺合作用により上下摺動し、棒状化粧料 1 を昇降動させる。

【0007】また、容器本体にキャップ 2 1 を嵌合させると、帽体 2 6 の肉薄部 2 7 に設けられた嵌合突部 2 8 は外方向にたわみ、かつ自身も変形しながら中具筒 1 8 の嵌合部 2 2 を乗り越え、嵌合凹溝 2 4 に係合する。そして、嵌合突部 2 8 上方の内径が中具筒 1 8 の嵌合部 2 2 外径と同径か、僅かに小径になっているため、帽体 2 6 の肉薄部 2 7 内壁と中具筒 1 8 の嵌合部 2 2 外壁が密着してキャップ 2 1 内部を密閉する。

【0008】

【実施例】揮発性成分を含有した棒状化粧料 1 を収嵌保持した保持筒 2 は、下端より脚筒 3 を垂下している。この脚筒 3 の下端外壁には、螺合突部 4 が突出している。また、保持筒 2 の上端縁部は、外周が僅かにらっぱ状に拡開したシール部 5 になっている。

【0009】この保持筒 2 は、スリーブ 6 内に上下摺動自在に内装され、保持筒 2 のシール部 5 がスリーブ 6 の内壁に密着して保持筒 2 外壁とスリーブ 6 内壁の間からの揮発性成分の発散を防いでいる。このスリーブ 6 の下部側壁には、前記脚筒 3 の螺合突部 4 が貫通して保持筒 2 を上下摺動自在に回動不能に内装するガイド溝 7 が穿設されている。このガイド溝 7 は、スリーブ 6 下端に開溝しており、保持筒 2 を下方より挿入できるようになっている。その結果、螺合突部 4 がガイド溝 7 の上端に当接して、保持筒 2 の上昇を規制している。また、このガイド溝 7 よりも上方外側壁には、連結凹溝 8 が周設されている。

【0010】このスリーブ 6 は、下部が螺旋筒 9 内に回動自在に内装されている。この螺旋筒 9 の内壁には、前記脚筒 3 の螺合突部 4 が螺合する螺旋溝 1 0 が螺設され

ている。この螺旋溝 1 0 の上端は、ガイド溝 7 の上端より僅かに上方まで設けられ、下端は螺旋筒 9 下端に開溝している。その結果、脚筒 3 の螺合突部 4 は、螺旋筒 9 の下方より螺旋溝 1 0 に螺合させる事が可能となっている。また、螺旋筒 9 の上部外周には、外周ローレット 1 1 が刻設されている。この螺旋筒 9 の上方には、連結筒 1 2 が連設されている。この連結筒 1 2 の下部側壁には、逆 U 字状に切り欠かれ外方向に屈曲可能となった舌片状の連結片 1 3 が設けられている。この連結片 1 3 の上部内壁には、前記スリーブ 6 の連結凹溝 8 に係合してスリーブ 6 と螺旋筒 9 を回動自在に脱落不能に連結する係合突部 1 4 が突設されている。この係合突部 1 4 の背面には、ストッパー突部 1 5 が突設されている。更に、この連結片 1 3 の上方外周は、幅の広い浅い溝状に刻設され、薄肉でたわみ可能な摺接部 1 6 を構成している。この摺接部 1 6 内壁には、複数の摺接突部 1 7 が突出している。この摺接突部 1 7 の内接円径は、スリーブ 6 の外径よりも僅かに小径となっている。その結果、摺接部 1 6 は僅かに変形して摺接突部 1 7 がスリーブ 6 外壁に弾性を有して当接し、スリーブ 6 の回転操作時に良好な操作抵抗を発生させるようになっている。

【0011】この螺旋筒 9 の上部には、中具筒 1 8 が嵌合止着されている。この中具筒 1 8 は、螺旋筒 9 が止着される止着部 1 9 と、鐏状の当接部 2 0 と、キャップ 2 1 が抜脱可能に嵌合する嵌合部 2 2 とよりなっている。止着部 1 9 の下部内壁には、前記螺旋筒 9 の外周ローレット 1 1 と噛み合い、中具筒 1 8 内で螺旋筒 9 を回転不能とする内周ローレット 2 3 が刻設されている。嵌合部 2 2 は、螺旋筒 9 の連結筒 1 2 を被っており、内壁に連結片 1 3 のストッパー突部 1 5 が当接している。その結果、スリーブ 6 と螺旋筒 9 を組み立てる際には、連結片 1 3 が外方向にたわんで容易に組み付ける事が可能となるが、螺旋筒 9 に中具筒 1 8 が嵌合した時点で、連結片 1 3 の外側へのたわみが阻止され、スリーブ 6 と螺旋筒 9 が分解不能となるようになっている。また、嵌合部 2 2 の外周には、嵌合凹溝 2 4 が周設されている。

【0012】この中具筒 1 8 の止着部 1 9 は、本体筒 2 5 の上部に止着され、当接部 2 0 が本体筒 2 5 の上端に当接している。また、螺旋筒 9 の下端は、本体筒 2 5 の底面に当接している。その結果、保持筒 2 の脚筒 3 の下端が本体筒 2 5 の底面に当接して、保持筒 2 の下降を規制している。

【0013】また、キャップ 2 1 の内部には、帽体 2 6 が挿入止着されている。この帽体 2 6 の下部外側壁には、幅の広い浅い溝が刻設され、側壁がたわみ可能な肉薄部 2 7 を構成している。この肉薄部 2 7 のほぼ中央内壁には、中具筒 1 8 の嵌合部 2 2 に嵌合した際、嵌合凹溝 2 4 に係合して嵌合状態を保持させる嵌合突部 2 8 を突設している。この嵌合突部 2 8 の背面も薄肉に削除され、嵌合突部 2 8 自体も変形するようになっている。そ

して、嵌合突部 28 の下方内径は、中具筒 18 嵌合部 22 外径よりも僅かに大径となっており、嵌合突部 28 より上方の内径は、中具筒 18 嵌合部 22 外径よりも僅かに小径となっており、嵌合部 22 外周に帽体 26 が密着してキャップ 21 内部を密閉するようになっている。また、キャップ 21 が中具筒 18 の嵌合部 22 に嵌合した際には、キャップ 21 下端が中具筒 18 の当接部 20 に当接するようになっている。

【0014】尚、保持筒 2 は、棒状化粧料 1 保持のため、保持筒 2 内壁に複数のリブ 29 を突設している。このリブ 29 は、化粧料を棒状に固形化した後装着する保持筒 2 の場合、軸線と平行の縦リブ 29 となっている。容器に直接充填して棒状に固形化する保持筒 2 の場合、縦リブ 29 の他に、水平リブ 29' が混在している。また、化粧料を容器後方から直接充填する構成の場合、保持筒 2 底面及び本体筒 25 底面に貫通した穴が穿設され、ここから充填ノズルが保持筒 2 内に侵入できるようになっている。

【0015】また、螺旋筒 9 に螺設された螺旋溝 10 を、前記脚筒 3 の螺合突部 4 の幅よりも狭い幅の溝を全周に無数条設けたローレット状螺旋溝 10 としてもよい。この場合、ローレット状螺旋溝 10 に螺合する脚筒 3 の螺合突部 4 の先端面に、隣り合った複数のローレット状螺旋溝 10 が螺合する螺合面 30 を刻設する必要がある。その結果、螺旋溝 10 と螺合突部 4 の位置合わせが必要なくなる、溝深さを浅くする事ができるため螺旋筒 9 の肉厚を薄くできる等の利点がある。

【0016】また、実施例では揮発性成分を含有した棒状化粧料 1 を収納する密閉機構を有した構成について説明したが、通常の棒状化粧料 1' を収納する密閉機構を有さない構成についても実施可能である事は言うまでもない。この場合、キャップ 21 内の帽体 26 が必要なくなり、中具筒 18 の嵌合部 22 外壁にキャップ 21 嵌合用突ダボ 31 を突設する必要がある。

【0017】また、本発明では、本体筒 25 の底面に保持筒 2 の脚筒 3 底面が当接した時点で保持筒 2 の下死点となっているが、脚筒 3 底面と本体筒 25 底面の間にスペーサー 31 を配置する事によって、本体筒 25 の長さを自由に設定できるようになる。この場合、スペーサー 32 がドーナツ形状をしていれば、化粧料の後方充填も可能となる。

【0018】

【発明の効果】本発明は以上のように、帽体 26 の嵌合突部 28 が中具筒 18 の嵌合凹溝 24 に係合してキャップ 21 が容器本体に嵌合保持されるのであるが、この嵌合突部 28 自体は中具筒 18 との間で密着しておらず、中具筒 18 の嵌合部 22 先端が中具筒 18 の内壁に密着してキャップ 21 内を密閉するようになっている。従って、キャップ 21 の嵌合操作の最終段階でキャップ 21 内が密閉されるため、ピストン効果でキャップ 21 内の

内圧が上昇してしまうようなことはない。つまり、簡単な構造でキャップ 21 内の気密性を効果的に得る事ができるようになっている。

【0019】また、帽体 26 にたわみ可能な肉薄部 27 を構成し、この肉薄部 27 内壁に前記中具筒 18 の嵌合凹溝 24 に係合する嵌合突部 28 を複数突設し、この嵌合突部 28 の背面も肉薄に削除して嵌合突部 28 自体を変形可能に構成したため、中具筒 18 とキャップ 21 の間の間隙、つまり帽体 26 のスペースを最小限にしたとしても、嵌合部 22 を乗り越えて嵌合凹溝 24 に係合するという作用は十分に達成できる。従って、本発明の構成を気密性を有さない従来よりある容器に利用する場合、キャップ 21 内の帽体 26 が必要なくなるのであるが、キャップ 21 の肉厚を僅かに増加させるだけでそれに対応できる。つまり、極めて汎用性の高い容器が提供できる。

【0020】更に、前記スリーブ 6 のガイド溝 7 の上方に連結凹溝 8 を周設し、前記螺旋筒 9 の上部に連結筒 12 を連設し、この連結筒 12 側壁に逆 U 字状に切り欠いて外方向にたわみ可能な連結片 13 を構成し、この連結片 13 の上端内側壁に前記スリーブ 6 の連結凹溝 8 に回動可能に係合する係合突部 14 を突設して、前記螺旋筒 9 の上部に中具筒 18 を嵌合した際、嵌合部 22 内壁が前記係合突部 14 の背後に位置して連結片 13 の屈曲を阻止し、螺旋筒 9 とスリーブ 6 を脱落不能に連結したため、容易に組み立てを行うことができ、しかも組み立て終了後には、不用意に分解できないようになっている。

【0021】また、前記螺旋筒 9 の上部に薄肉でたわみ可能な摺接部 16 を構成し、該摺接部 16 内壁に、前記スリーブ 6 外壁に弾性を有して当接する複数の摺接突部 17 を突設したため、棒状化粧料 1 の繰り出し操作時に、摺動抵抗が発生し、良好な繰り出し操作感を得る事ができる。従って、部品点数を増加させずに高級感のある操作感を付与できる。

【0022】前記螺旋筒 9 内に保持筒 2 の螺合突部 4 の幅よりも狭く、深さの浅い螺旋溝 10 を内壁全周に無数条螺設し、前記保持筒 2 の螺合突部 4 先端面に隣り合った複数の螺旋溝 10 と螺合する螺合面 30 を刻設したため、螺旋筒 9 の螺旋溝 10 に螺合突部 4 を螺合させる際、どの位置でも螺合させる事ができるため、組み立ての手間を省く事ができ、組み立ての自動化も図れる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明実施例気密性を付加した棒状化粧料繰り出し容器の正面断面図。

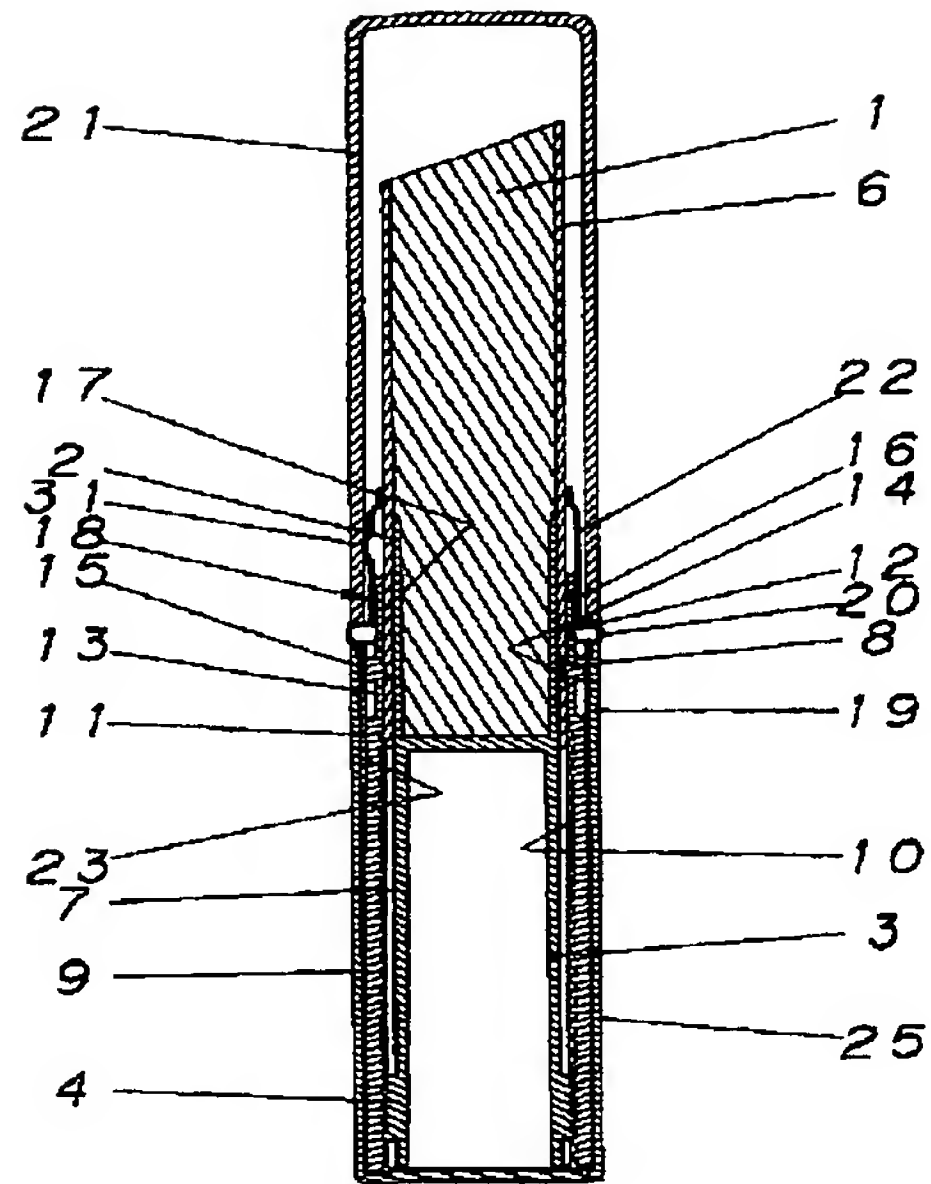
【図 2】図 1 に於ける使用状態の正面断面図。

【図 3】棒状化粧料を装着するタイプの保持筒の斜視図。

【図 4】化粧料を下方より直接充填するタイプの保持筒の斜視図。

【図 5】ローレット状螺旋溝が螺設された螺旋筒の斜視

【図6】



【図7】

